

No.	⑬	分類	2-(2)-ア	資料名	調べてみれば	学年	2・3年	領域	理科
-----	---	----	---------	-----	--------	----	------	----	----

1 ねらい

- 東日本大震災に関する風評被害について知り、物事を科学的、客観的に判断したうえで行動することの大切さに気づく。

2 趣旨

- 被災した福島県の人々が、誤った情報や思い込みによってさらに傷つき、精神的にも経済的にも苦しい状況にあることを認識させる。
- 差別や偏見を解消していくためには、正しい情報を収集し、それを広く伝えていくことが必要であることに気づかせる。
- 理科における放射線についての学習と関連させることで、風評被害や人権侵害の事例に対する不合理さや憤りを感じさせることができる。

3 配慮事項

- 学級に被災地から避難している生徒や、被災した親戚がいる生徒が在籍する場合は、事前に授業内容を伝え、理解を求める。
- 前半部と後半部を区切って提示し、学習を展開することも有効である。

4 展開例

学 習 内 容	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 東日本大震災について、知っていることを発表する。</p> <p>2 資料を読み、「僕」の気持ちを考える。</p> <p style="text-align: center;">なぜ「僕」は宏と話をすることができなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線のことかわからないから不安だった。 宏から放射線が出ることはないはずだけど、明に「違う。」とは言い切れなかった。 宏に申し訳なかった。 自分も疎外しようとしていたと宏に思われた。 <p>○「僕」が調べたことをもとに、放射線について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災の被害や、原子力発電所の事故について簡単に説明する。 宏に対して、それぞれの登場人物がどのように考えているかを整理する。 宏に申し訳ないと思いつつも、放射線のことがよくわからないために、反論できなかったことを押さえる。 正しく反論をする人がいないと偏見や差別が広がっていくことを認識させる。 農産物や海産物などの例から、不確かな情報により風評被害が起こっていることを知らせる。 自分の生活の中で、噂などが大きくなって困ったことがないかを問いかけ、風評被害が同じような仕組みで起こることを認識させたい。
<p>3 「僕」が学校で友だちに話す内容を考える。</p> <p style="text-align: center;">「僕」は学校で宏や明にどんな話をするのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 宏から放射線が出るなんてことは絶対にない。 声をかけられずにごめんね。 福島県産の農産物や海産物すべてから放射線がでてるように思われているんだよ。 不確かなことについては、何が正しいのかを調べるのが大切だ。 風評被害の解決策について一緒に考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい情報や、科学的な認識をもつことが、人権侵害や風評被害を防ぎ、他の人権課題も解決していくことを認識させる。 福島県産の農産物や海産物はすべて危険であると思っている人もいることから、風評被害を、自分の問題として考えさせたい。 自分で調べたことにより、自信をもって話せることに気づかせる。 正しい認識をもち、支援を行う人も多くいることを理解させる。
<p>4 本時のまとめをする。</p>	